

6. 立地条件

**当 初**

3) 計画高

最終計画地盤高は 357.85m とするが、本体工事では地盤高 353m までの盛土とし、地耐力 150kN/m<sup>2</sup> を確保する予定である。**添付図面 5、6** 横断図参照のこと。なお、最終計画地盤高までの埋戻し作業は本工事で行うこと。埋戻し土については、現場発生土を利用できる予定である。

**変 更**

3) 計画高

最終計画地盤高は 357.85m とするが、本体工事では地盤高 353m の位置で地耐力 150kN/m<sup>2</sup> を確保する予定である。その後本体工事で最終計画地盤高 357.85m の位置まで盛土を行い平成 27 年 4 月に本工事へ引き継ぐ。本工事で必要となる掘削、埋戻し作業は本工事で行うこと。掘削可能平面範囲は**添付図面 2** の緑破線部とする。

また、本工事の建築物、構造物等の位置（高さ）や荷重により必要地耐力が不十分の場合は本工事に対策を講じること。